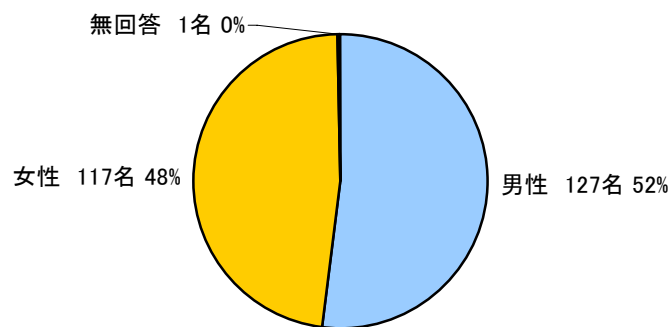


「下水道に関するアンケート調査結果」

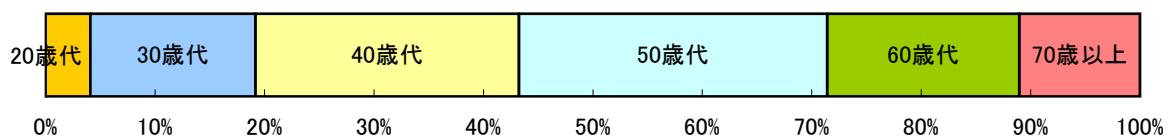
県民の皆様の下水道に関する考えを把握し、今後の下水道行政に活かすため、県政モニターによるアンケート調査を実施しました。

- 1 アンケート調査の実施時期
平成19年1月
- 2 県政モニター数
(1)一般モニター(郵送によるアンケート調査) 253人
(2)インターネットモニター(電子メールによるアンケート調査) 107人
合計 360人
- 3 回答数
(1)一般モニター(郵送によるアンケート調査) 177人
(2)インターネットモニター(電子メールによるアンケート調査) 68人
合計 245人 (回答率68.1%)

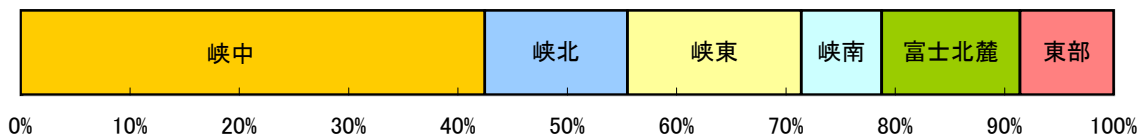
【回答者の性別】



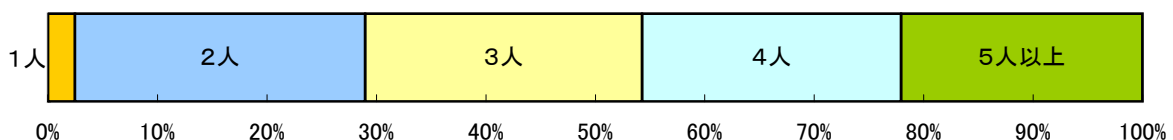
【回答者の年齢】



【回答者の居住地】

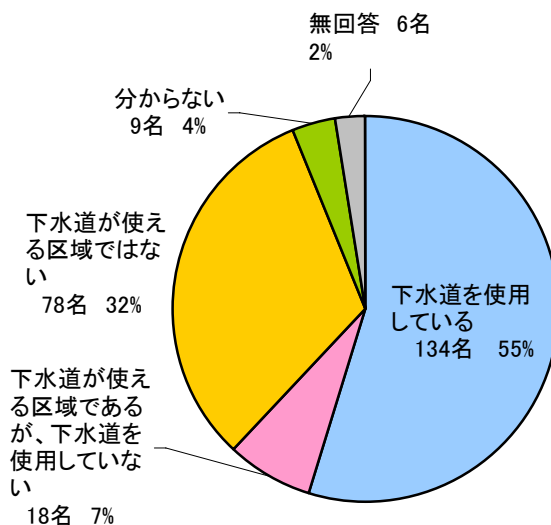


【回答者の同居人数(本人含む)】



【問1】あなたのご家庭では、下水道を使用していますか？

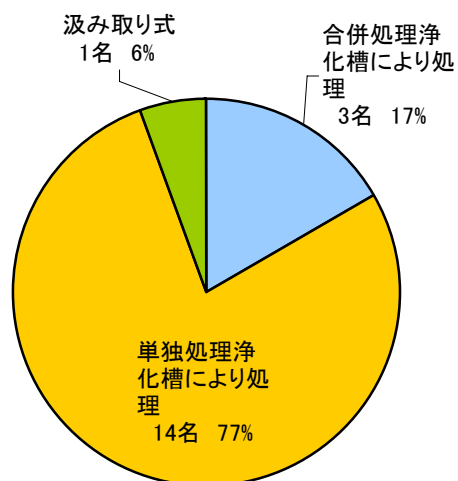
下水道を使用している人は、全体の55%でした。
下水道が使える区域であるのに下水道を使用していない人は全体の7%でした。



【問2】あなたのご家庭の生活排水は、どのように処理していますか？

【問1】で「下水道が使える区域であるが、下水道を使用していない」と答えた方に聞きました。

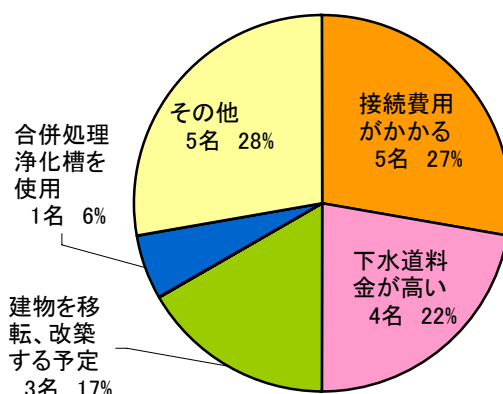
「単独浄化槽で処理」及び「汲み取り式」の人は、全体の83%でした。



【問3】どのような理由で下水道に接続していないのですか？

【問1】で「下水道が使える区域であるが、下水道を使用していない」と答えた方に聞きました。

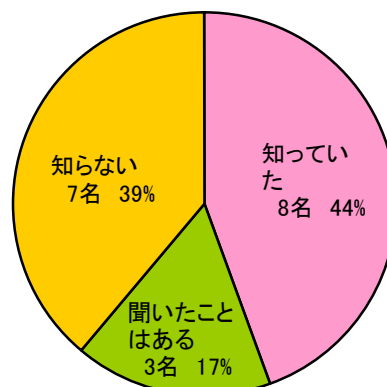
「接続費用がかかる」「下水道料金が高い」と金銭面の理由を挙げた人は全体の49%でした。



【問4】市町村では、下水道への接続促進を目的として、接続工事の融資制度や補助制度を設けていますが、ご存じでしたか？

【問1】で「下水道が使える区域であるが、下水道を使用していない」と答えた方に聞きました。

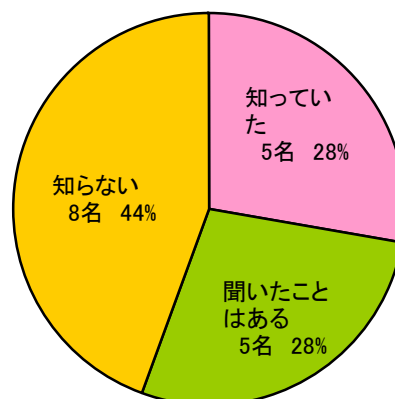
「知っていた」「聞いたことはある」と答えた人は全体の61%でした。一方、「知らない」と答えた人は39%でした。



【問5】「下水道が使用できる区域となった場合、遅滞なくその土地の下水を下水道に接続しなければならない」という規定が下水道法に定められていますが、ご存じでしたか？

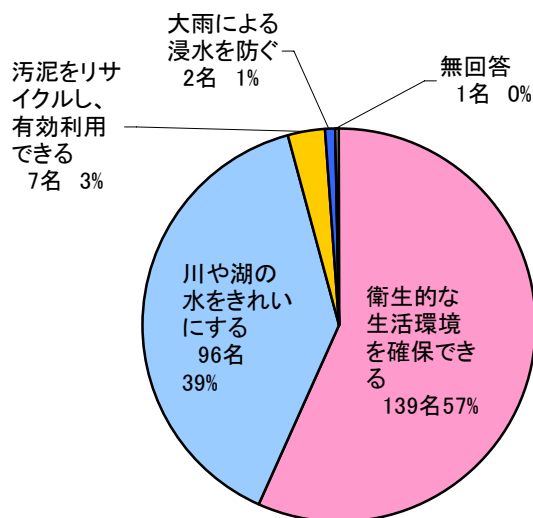
【問1】で「下水道が使える区域であるが、下水道を使用していない」と答えた方に聞きました。

「知っていた」「聞いたことはある」と答えた人は全体の56%でした。一方、「知らない」と答えた人は44%でした。



【問6】下水道の役割として何が最も重要だと思いますか？

「衛生的な生活環境を確保できる」と答えた人が最も多く、全体の57%でした。次いで、「川や湖の水をきれいにする」と答えた人が全体の39%でした。



【問7】本県では、下水道が利用できる環境にある方のうち、約20%の方が

下水道に接続していません。

下水道施設の有効利用や、水環境の改善のためには、より多くの方に下水道を使用していただく必要があるとともに、下水道法では、下水道への接続義務が規定されています。

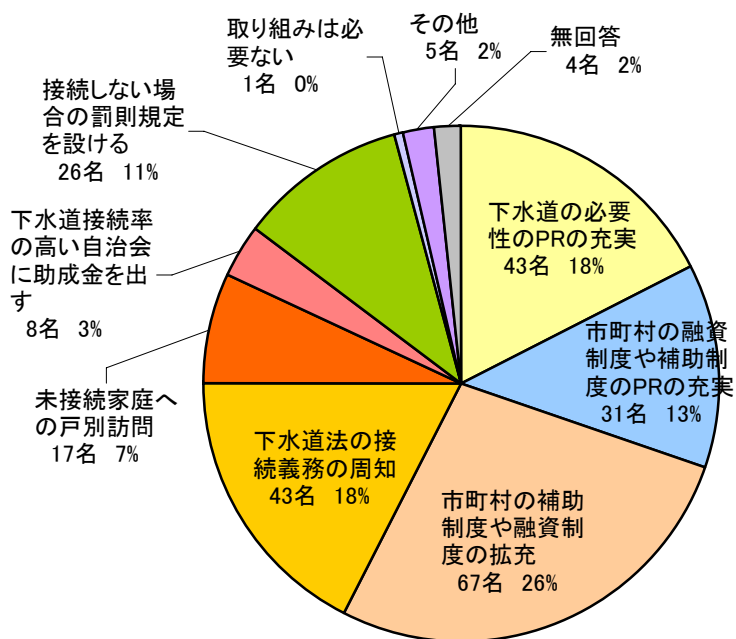
そのため、市町村では、下水道へ接続工事費用の融資制度や補助制度を設け、下水道への接続促進を図っています。

こうした中で、より多くの方に下水道へ接続していただくため、さらに、どのような取り組みが必要だと思いますか？

「下水道の必要性のPRの充実」「市町村の融資制度や補助制度のPRの充実」「下水道法の接続義務の周知」のPR関係を挙げた人は全体の49%でした。

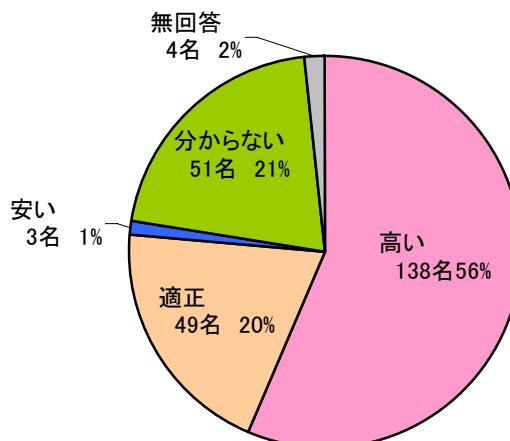
また、「市町村の補助制度や融資制度の拡充」「下水道接続率の高い自治会に助成金を出す」の金銭的な取り組みを挙げた人は全体の29%でした。

一方で、「接続しない場合の罰則規定を設ける」を挙げた人が全体の11%いました。



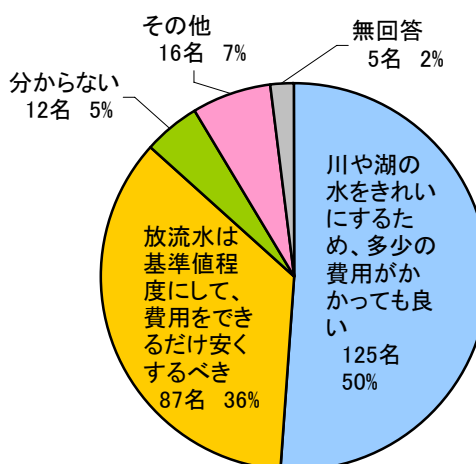
【問8】現在の下水道料金は高いと思いますか？

「高い」と答えた人が最も多く、全体の56%でした。



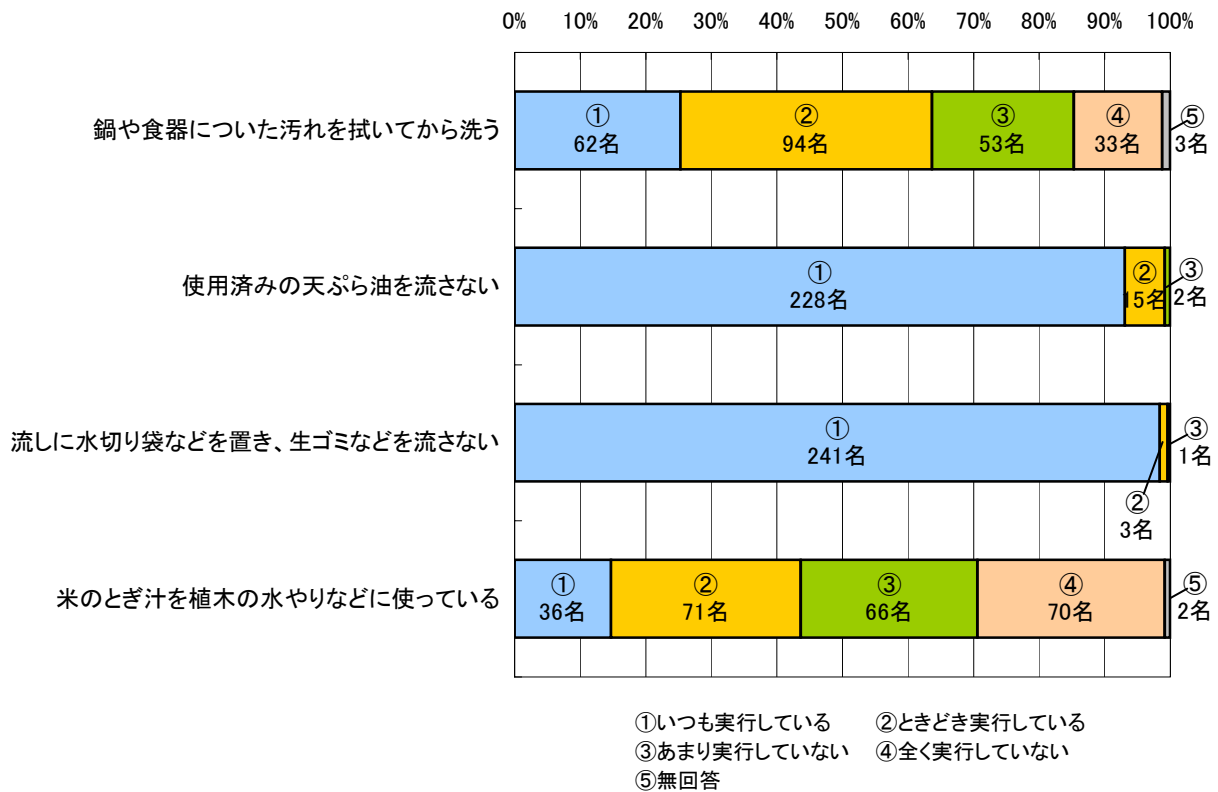
【問9】下水処理施設で浄化した後、河川に放流する水には、法令により、一定以上の水質を確保するための基準値が定められています。このような中で、本県の流域下水道における下水処理施設では、川や湖の水をきれいにするため、法令で定められている基準値を下回る(基準値の約1/7)水質で放流しています。そのため、基準値程度までの処理と比べて若干費用がかかっていますが、このことについて、どのように思いますか？

「川や湖の水をきれいにするため、多少の費用がかかっても良い」と答えた人が最も多く、全体の50%でした。



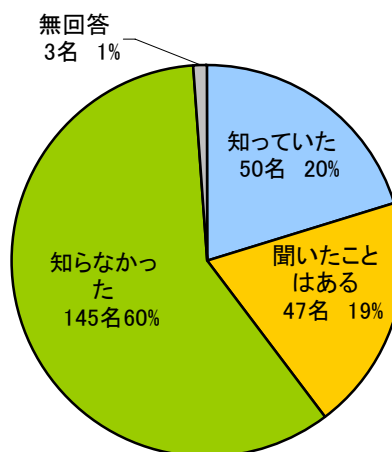
【問10】あなたは、台所から排水するとき、次のことに注意していますか？

「使用済みの天ぷら油を流さない」及び「流しに水切り袋などを置き、生ゴミなどを流さない」の対策については、ほとんどの人が「いつも実行している」と答えました。一方、「鍋や食器についた汚れを拭いてから洗う」及び「米のとぎ汁を植木の水やりなどに使っている」の対策について「いつも実行している」と答えた人は、それぞれ25%、15%であり、比較的少数でした。



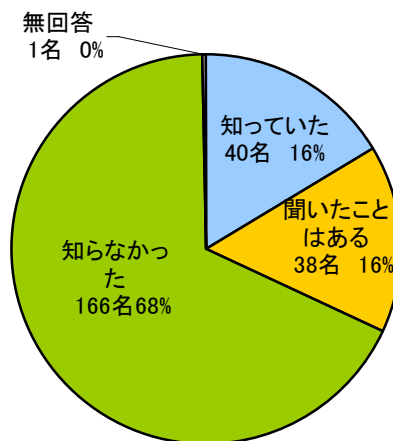
【問11】あなたは、単体ディスポーザーを知っていますか？

「知らなかった」と答えた人が最も多く、全体の60%でした。
「知っていた」「聞いたことはある」と答えた人は全体の39%でした。



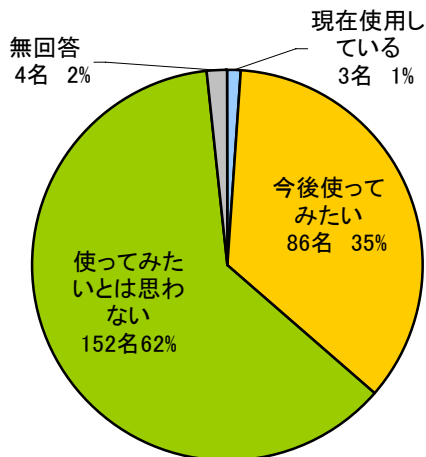
【問12】あなたは、ディスポーザー排水処理システムを知っていましたか？

「知らなかった」と答えた人が最も多く、全体の68%でした。
「知っていた」「聞いたことはある」と答えた人は全体の32%でした。



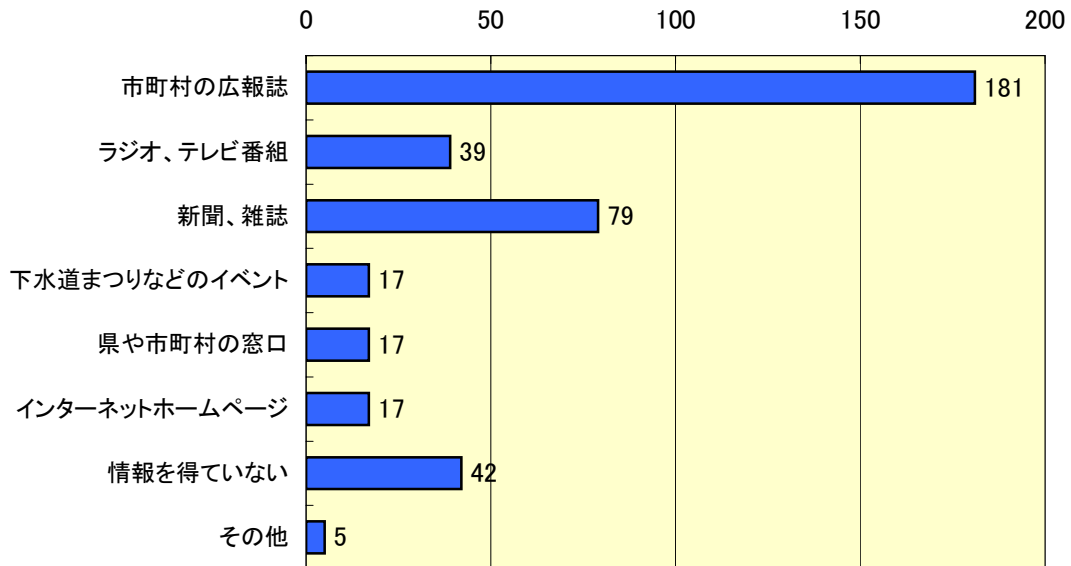
【問13】あなたはディスポーザー排水処理システムを使用してみたいと思いますか？

「使ってみたいとは思わない」と答えた人が最も多く、全体の62%でした。
「今後使ってみたい」と答えた人は全体の35%でした。



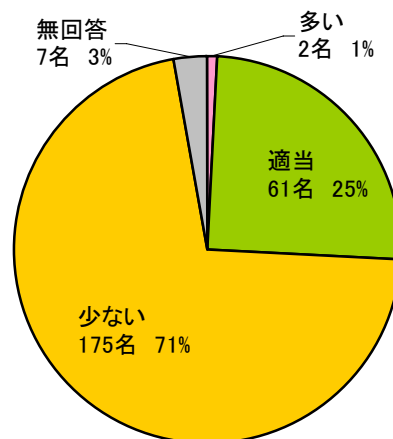
【問14】あなたは、下水道に関する情報をどのようなものから得ていますか？（複数回答）

「市町村の広報誌」から情報を得ている人が最も多く、2番目が「新聞、雑誌」でした。一方で、「情報を得ていない」と答えた人が3番目に多いという結果でした。



【問15】下水道についての情報量は適当だと思いますか？

大半の人が「少ない」と答えており、全体の71%でした。



【問16】下水道への接続促進に関する取り組みについて、
何かアイデアがありましたら何でもご記入ください。

- ・大変でしょうが戸別訪問も必要だと思います。
- ・下水の良い点を知ってもらうことが大事だと思う。
- ・使用料が高くなると思ってる人が多い。普及率が向上したら料金の引き下げ等も検討の必要ありと思う。
- ・下水道の料金をとる
- ・学校(特に、小中学校)で下水道に関する重要性、環境保全の効果など、どの程度教育されているのか？PRパンフレットなど生徒を経由して家庭に配布する方法はいかがでしょうか？
- ・下水道は大人だけの問題だけでなく小学校、中学校、高校、短・大学等生まれた時から即ち下水道が当り前に思われている。しかし、これから長く使用する子供達から大人への下水道の必要を促すことが必要と思われる。
- ・接続料は無料とする(田舎は屋敷面積が広いので、非常に負担大)
- ・下水道料金に冬期料金を設けて欲しい。富士北麓地域は冬の間、大半の家庭で防凍(水道管)の為、水は24時間出し放しである。冬期の下水道料金の負担は大きく、下水道への不接続の一因にも思われる。
- ・工事費を安くする
- ・取り付けるときにも、金がかかることと、使用時にも金がかかること。その使用に対して、もっと安くなれば良いと思う。
- ・接続後は継続的に料金に反映されるため、家庭によっては及び腰かと思われる。根気よくPR活動を行い理解を求めるのが当面の対応かと思われます。
- ・加入料(工事代金)が高いと思うので、助成金をできるだけ出してあげる。
- ・広報誌や広報番組、新聞といったメディアを利用し下水道への接続義務、融資制度や補助制度の存在を広く伝える。
- ・戸別に訪問する。
- ・環境問題は個人の好き嫌いや経済的な問題で自由が許されない事を県民に周知させた上で、非接続者に対する罰則を課する条例の制定をすべき。
- ・老後の一人暮らし世帯等には大金もかかること、収入も決まっただけであるので、大変なことである。接続しないにはそれなりの理由があるのだから強制はできないのではないかと。
- ・無利子にて金をかし出す。
- ・老人夫婦(年金生活者)にとっては、費用が大きすぎる(公共マスから住宅まで30mもある)。高齢者の場合は融資に金利無しで20年位の長期があればと思う。中途死亡の場合を考え、保険に入れる。
- ・理解の姿勢: 不信感の払拭の対応
最終的には、法・規則で対応 →不公平感をいつ迄もおいて置くと、理解して実施協力した市民も敵に廻すことになる。
- ・1けん1けんにごくお金がかかるようですが、少しでも理解するようによく説明して下さい。
- ・一般の人の下水道に関する関心が漠然としていると思います。必要性を強く持つように広報活動を積極的に採用してみてもどうかと思います。近年、広報活動が殆んど行われていないのではないですか？
- ・下水道への接続の必要性はわかっている、接続工事費用に問題があると思います。接続工事費用の解決がポイント。
- ・富士吉田市でも地区や自治会により下水道が通った道路を中心に加入できる家は接続しているが、工事費がかかったり下水道料を別に支払わなければならない点で加入しないと思う。市からの補助や融資があることをもっとPRしてほしい。
- ・各部落単位で班長区長他役員が居るので、地域住民全体の協力とまとまりが必要との事を説得して歩いてもらう方法がききめ大だと思う。
- ・収入の多い家庭から多く負担をしてもらう。資産の多い人から、より多く出してもらう。金の無い人からは出せないと思う。
- ・「下水道の必要性のPRを充実する」「市町村の融資制度や補助制度のPRを充実する」「市町村の融資制度や補助制度を拡充する」「下水道法の接続義務を周知する」の取り組みを積極的に行う
- ・罰則規定を設けると共に接続義務の周知を徹底する。
- ・わかりやすい資料を作って、戸別訪問し、よく説明するのが良いと思います。
- ・下水道に接続する費用が高すぎるので安くできるよ、世間が使う水道料+下水道料なので水道料が高くなるので下水道を使用しないようなので、その点を県は考えてほしい。

- ・ 以前千葉県に住んでいましたが、家庭排水、汚水の排水は下水道以外ありませんでした。川、小川もありましたが、排水することが出来ませんでした。
- ・ 利用者而非利用者間に格差をつけてほしい。例えば、利用者の水道料を若干、値下げする等。
- ・ 地区単位の説明会の実施
- ・ 未接続者専用の上水検針票を作り、PR回数を増やす
- ・ 接続工事費が高いので安くすればよい。補助金制度を接続業者に出して、一般家庭の負担を少なくする。
- ・ 知らない人知ってもらう様に、コマーシャル等や回覧板などで知らせる。
- ・ 戸別訪問して理解していただいたらどうですか
- ・ 生活排水対策は、ゴミ問題と同じく、各個人個人の意識改革が大切だと思う。水の大切さや衛生面、排水対策など、日常生活の中で意識することが少ないので、PRをくりかえし行うことで前向きに行動できたら良いと思う。
- ・ 現在も経済的にめいっばいの方(我家も含め)が多く、下水道接続までは手がまわらないと思う(そんな声をよくききます)。おもいきって下水道に関し、安値で又は無料(おもいきって)でお願いできないでしょうか？
- ・ 「市町村の融資制度や補助制度のPRを充実する」「市町村の融資制度や補助制度を拡充する」「下水道法の接続義務を周知する」を併用して下水道料金を安くしていく事。それらの取り組みをすることで接続する人も増えて料金も安くなることを願います。
- ・ 我が家の隣り宅は元町議員宅なのだが、未だ、その工事がされないまま生活している。その意識のなさは、アイデアも浮かぶレベルではない。
- ・ 宅地でm2当たりの金額になっているが、庭でなく農地の場合は敷地分からぬいて計算してよいと思う。
- ・ 利用していない方を戸別訪問し、理由をだすね。接続義務があるとはいえ、それなりの理由があると思うので、少数意見であっても参考になるものがあるかも知れない。
- ・ どの取り組みも必要だと思います。その中でもやっぱり接続料金は気になるものだと思います。その資料を作り、接続していない家庭へ送付、連絡などしてみたら、いかがでしょうか？
- ・ 県民一人一人が川や湖がきれいになり魚が住む昔のスタイルになる様な状況になる様に各自治体に広報等にて各家庭に教育しては。県では、テレビ、新聞等で周知してもらいたい。
- ・ 自治会の回覧板への添付
- ・ NHK、テレビ等で広報活動をする
- ・ 小学校社会科4年の学習に「水とくらし」があるので、その中で、子供への指導を確実にして、次世代への意識付をする
- ・ 下水道のメリットをもっとTV番組などでわかりやすく伝えたら良いと思います。
- ・ 接続工事の融資、補助制度について、もっと告知が必要では。
- ・ 下水処理場の見学会を行い、下水道のPRをしつらいと思います。
- ・ 工事の費用も高かったですし、使用料も安くはありません。ずーと生きている、使っている以上は支払い続けるわけですね。日本は公共料金が高すぎます。そのへんを変えていかないと、いつまでたっても川は汚れるばかりで…。川にゴミを流す人も多いですよ。子供の頃の川はとてきれいだっただのに。
- ・ 川や湖の水が汚れれば、おいしいお米がとれなくなるし、自分の体に入ってくる食物も汚染されてゆくことを知ってもらう。
- ・ 我が家でもたいそうな工事になりました(ためいきものです)。お金がなけりやあ、したくてもできませんもの……。
- ・ 山梨の自然、山と緑と空気そして水がきれいです。これらを保持していく為には、下水道設備を向上しなくてはならないと思います。県も全力をつくし、各家庭及び企業の普及率を100%に向かって頑張ってください。県からのPR、TVやCATV等のマスコミを使って県民に広く伝えて行く事を希望します。
- ・ 広報や回覧などでマンガ入りの、下水道のない場合のリスク、ある場合のメリットを周知させる広告を何度も出すこと。学校などでも環境問題として子供にも意識高める。
- ・ 下水道を接続している場合としていない場合の環境の違いをPRする。
- ・ 下水道以外の効果的な方法も検討すべき。
- ・ 各自治会に主体性を持たせる。
- ・ 地域の自治会を巻き込んで、必要性を強く説く、大勢での説得が良い。罰則規定も必要だと思います。
- ・ 市町村の補助制度があるかどうか分からないのでPRは必要だと思う。使用料は接続の有無にかかわらず接続可能区域では徴収するなどして加入しない理由をつぶしていく。

- ・ 広報誌などで「下水道法」特集を組んだらどうでしょうか。
- ・ 具体的な家計の出費額を算出して提示する。
- ・ テレビ番組を使って下水道のPR
- ・ 関係者が家庭訪問を徹底し、設備の費用を格安に出来る方法を教える事。
- ・ 県のPR番組などでわかりやすい言葉で、説明したらどうか？（もちろん、もうされていると思うが・・・）アニメにするとか・・・。
- ・ 下水道完備による環境効果を広報、新聞等に掲載
- ・ 県、市町村の広報等で下水道のPRが少なく、記載されていても目立たない。地区、地域ごとの普及状況の周知も必要と思われます。
- ・ アイデアは特にありませんが次世代へ素晴らしい水環境を残してあげることを伝える。自分も水環境の恩恵を受けてきたのだから。
- ・ 補助金を増やし、下水道料金を下げたいと思う
- ・ 特定期間に接続した家庭には一定期間下水道料金免除等の特典を与える。
- ・ 下水道に接続していない事業所、家庭等に行政がもっと強い姿勢で対処して欲しい。
- ・ TV、CMを活用し未来に対する「下水道の役割と重要性」をPRしていく。

【問17】下水道事業や県への意見、要望等

- ・ 下水道の完備を全県下に行きわたる様、早急にしていただきたい。
- ・ 下水道が義務づけられているのに、未だに接続していないところがあるのはおかしいですね。私の住む地域はきちんと接続していて処理料も払っています。市川三郷町のある地区は、まだまだ接続しておらず、不衛生的でいやです。一刻も早く下水道接続工事をお願いします。汲み取り式のトイレなんて考えられません。早く廃止してください。それに下水道の処理料も支払っていないし、不公平です（通っていないので払う必要はありませんが）。
- ・ 当地は給水に要する水資源が豊富でありあまる程であるが、水道料金が高いと思っていた。合理化等で安くする事で上下水道の早期の普及拡大を期待したい。
- ・ PRが不足と思う。
 - 1 魚が住めない河川が改善された事例
 - 2 いまもって住めない川、池、沼の例
 - 3 以前はきれいな川が汚染されてきた事例 など
 下水道普及率との相関性を含めて県民に広く告知すべきと思う。教育現場を通じて大人に思考させるのが良いのでは？子供はいずれ大人になるのだから長いスタンスでの幅広いPRが必要と考える。
- ・ これからの社会では必要不可の事業である。しかし、工事の負担金等高額だと思われる為、社会の貧富差が広がる中、事業が厳しくなると思われる。また、月々の使用料も支払い困難の家が増えると思うが、その対策が目に見えるのではないか？
- ・ 下水道工事を直接する下請け工事者が無知で未熟な人達が多く、その責任者および管理・受注会社も、実態を把握する義務を怠っている（コストダウンのためか？）。
- ・ 下請け工事会社自体が非常に無責任なところが多く、直接社長に依頼しても工事者にいっさい伝達されていない場面が多々あり、住民に不信、不満が広がっている。
- ・ 甲府市の下水道については何年もかかって各家庭で義務であるかのように工事をしていたと思います。今は安心して水道に対しても下水道にしても、美しい、きれいな川になり魚が泳いでいる、とてもうれしいことです。近所の小さな子どもが「魚がいっぱいいるんだよ」と知らせてくれる。数年前はこんな環境は見られなかった。全ての県民に関心をもって欲しい。
- ・ 私の家では、下水道を使用させてもらっておりますが、下水道料金が水道料と比例するということのようですが、もう少し安くなるよう要望します。
- ・ 集落から離れたところへの下水道の工事がなかなか進んでいないように感じる。
事例 下水本管から500M位の所にアパートができたが、現状では無理と行政からいわれた
- ・ ある程度、強引に進めないと、いつまでたっても出来ないと思うので、多少でも値引きして、みんなに下水道を入れてもらうようにしたら、どうですか？
- ・ 下水道の必要性を草の根運動のように行う。
- ・ 積極的に下水道事業を行ってください。がんばってください。ただし、ムダ使いはしないでください。

- ・最近、下水を流すためか河川の石がドロでぬるぬるしている。水底には汚泥が貯っている。基準値の水質の水を流しているというのが実際にそうなのでしょうか。昔の河川にはほど遠いものです。
- ・上下水道料金が高いので安くしてほしい。
- ・市町村単位だと思えますが、料金を明確にした方が良いのではないですか。上水道は使用した量で分かるのですが下水道は何を基準にしているのですか。水まき、洗車に使用しても上水道と大して変化しないのは変です。
- ・年金生活者に対する融資制度を市町村だけではなく、県が中心となって対応してほしい。
- ・未加入者を減らして下水道料に対する不公平感をなくす
- ・下水道工事がある程度済んだことで下水道料が安くないのでしょうか？
- ・下水道料が高いことが未加入の原因の一番大きなことではないのでしょうか？
- ・情報を細かく、各市町村毎に、流してほしい。よく分かっていないことが多すぎる(下水道に関して)。
- ・環境面からしても早い市民に対する理解と積極的な全面実施を！！
更に他市町村の広いエリアの取り組みを。
- ・私達が下水道を接続したときは、金額的にも高かった様です。下水道事業を100%に向けて促進してゆくならば、補助制度をもっと充実させてほしいと思います。
- ・下水道施設の早期実現を希望します。
- ・甲府市内に住んでいますが、早く接続されるのを望みます。
- ・下水工事が始まって道路をふさいだり、車の出入りが不自由になるので、すばやくやってほしい(やる時は)。
- ・未使用者が20%と多いのに驚きです。その多くは浄化槽使用者と思いますが、適正に処理排水されているのか疑問です。対象者の適正チェックを行いながら、使用促進を行い、使用率を上げる必要があると思う。快適な文化生活を営むために多少の費用負担は当然ではないでしょうか。
- ・下水道を実際に使っていないので、実感としてあまり身近に感じないことが多い。ただ、水道料と下水道料の両方を支払うという事と道路から各家まで工事費(自費)がかかるという事は知っています。市内でも全戸が加入するようになり、下水道料金を安く支払いできれば、各戸で加入すると思うので、加入できる地域の工事を早急にしてほしいです。
- ・ふれあい、テレビなどでおまつりのイベントばかり放りっぱなしでこういう必要なことを流すべきです。清里は早い時期に下水道が完備したので、衛生的な生活ができて良かったです。
- ・特に甲府市の上下水道料金が為に、甲府にすむ人が少なくなると思います。
- ・下水工事は県、国の補助でするので、速やかに国県市町村に金が無いのなら、債権を発行して早く着工した方がよいと思います。どうせやるなら早い方がいいと思います。
- ・一時期、下水道工事が行われていたが、最近少ないように思います。大きいところ(幹線)はすみ、支線になったのでしょうか。私の家周辺は、支線にあたるのか、行われません。街づくりの中で大切な部分だと思います。できるだけ予算を計上してすみずみまでやってほしいですね。
- ・本県の豊かな自然環境を維持するために、下水道事業の必要性を県民にPRする。併せて、下水道事業の拡大、充実が必要であると思う。
- ・下水道を通さない夏場の植木や作物等の水やり、又、池などに水を使っているの、水道代が冬を除いてかなり高いので、もう少し費用を安くするように工夫してほしい。
- ・関心が無いからかもしれませんが、情報をあまり得ていません。今後普及させてゆくには、情報について再確認(再検討)が必要と思われる。
例・いつから接続するのか！ 費用はどれくらいか！ 助成は！
- ・当地区では、下水道工事を行っているが、市への補助金が少ない為に非常に工事が遅れている状態である。もっと資金補助し、早急に完了できる様、してもらいたい。
- ・市がきちんとした説明なしに、住民に対して力押しで導入を急がせようとしているのはゆるせないです。県も市に対しての行政指導をちゃんとしてほしいです。
- ・下水道のことは普段の生活の中であまり深く考えたことはなかったが、このアンケートによって考えさせられるものがあった。排水の問題は飲み水の問題にもつながるので、行政だけでなく、むしろ民間団体の積極的な活動が主体にならなければ根本的な水問題の解決にはつながらないのではないだろうか。
- ・下水道工事費用を自己負担のないように。
- ・多分、私の地域に下水管が付設されるのは、100年も先と思っています。今春、合併浄化槽を設置して、すべての排水を処理して川に流す計画です。多額の費用が必要ですが、現在の状況では当然と思っています。

- ・水道料に対する未納情報等があるが、管理の向上、県等の具体的条件を明記し、それなりの対処をすべき。
- ・社会全体の衛生面から下水道の整備は必要です。未整備地域への事業早期実施をお願いいたします。
- ・わたしが住む地域もはやく下水道が使用できるように工事をしてほしいと願っています。
- ・ディスポーザー排水処理システムを使用したくないと回答したが、今後、さらに技術の向上により安心して使える時までという気持ちからです。また、高齢化の進む過疎地に生活している為、下水道の必要性はわかっているが、なかなか接続しないという一人住まいの老人の家のことを聞く。融資制度等の拡充をはかってもらいたいのはもちろんであるが、むずかしい問題でもあると思う。
- ・この様な設備が出来てよかったと思っております。特にトイレの汲み取りは大変でした。衛生社が来るたびに、どこかの家庭でも悪臭に悩まされました。田舎ではけっこうハエとかが発生しましたが、大分減ったように思います。かなり衛生的になったと思います。まだ下水道にしていない家庭では、1日も早くしていただいた方がよいと思います。
- ・下水道工事後の道路の整備をすること。町道の整備が雑で長い間そのまま通学路では早くに整備が必要ではないか？
- ・下水道を使える区域ではないのですが、近所の家庭では簡易下水処理をして河川へたれ流す家が多くて臭くて汚くて閉口しています。又、自治体では下水処理は出来ないのに上水道だけは市の施設に加入するよう依頼してきます。簡易水道ですが、安くておいしい水が飲めるのに、高くてまずい水は飲みたくないと思います。上下水道一貫した政策をお願い致します。課が違うから・・・というのはあまりにも見識がなさすぎだと思います。何事においても！全てにおいて。
- ・すみません。下水道料金は以前住んでいたところで払っていました。2ヶ月に1回、水道料金といっしょなので、高額に感じました。今はまだ下水道が通っていないので、浄化槽で年に下水道料金と同じくらい払っています。だから、あまり、経済的に考えると変わらない意識があって、下水道といっても興味がなく、ただ、お金がとんでいくということしか感じません。前にも述べましたが、あらゆる他の税金もかかるので、はっきり言って負担です。県として、他のムダを省き、省ききった上で、市民の負担を軽くしてほしいと思います。市民が疑問に思っていることもあると思います。年金などで生活している方の負担も同じなのは少し大変かと思えます。
- ・下水道工事に使う資材が自宅の近くにあり、ほこり(土ほこり)がいつもあがっていて、車のフロントはもちろん、ベランダの手すり、玄関ドアがよごれがはげしいです。車のフロントは一晚で真白になってしまいます。健康にもわるいし、手間も増えます。なにか対応をお願いしたいと心から思っています。
- ・自己に不都合が生じれば騒ぐが、皆、関心がないんですね。
- ・下水道は、基本的には全ての人々が使用すべき、生活に必須の設備だと思えます。従って、導入時の費用、使用料は、もう少し抑えられないものかと思えます。又、浄化基準値をはるかに下回る水質で放流されていることは、今回初めて知り、大変重要で、ありがたいことだと思えますが、基準値位で良い様に思えます。
- ・下水道が使える区域になったら接続したいと思いますが、排水管を下水道管に接続するまでに距離があるため、他の家庭よりも費用が多くなると聞き、不安ですが、その場合、補助制度では多く補助して頂けると助かります。
- ・下水道料金が各自自治体によって違うのはどうして？
- ・昔の様なきれいな川になるような河川にしたい。早急に下水道の普及率が100%になる様、取り組んでもらいたい。
- ・下水道事業の主体、計画実行が市町村にあるとすれば、県はもとより、各市町村も財政悪化の中、施設工事は進まない。各家庭への負担増が上がれば、税金、介護、年金等の増に加えての増となり、利用者はなくなる。今のままで良いということになる。県民の負担増にならない、総合的な視点から各事業を考えてほしい。
- ・下水道まつりのイベントは長年実施しているので、もうやめたら良い。(住民は下水道に関する情報を得にくるのではなく、物をただくれるのでイベントに参加していると思う。)
- ・都留市では、下水道化が進んでいることと思うが、どの程度進んでいるのか(全体の%)や、どの地域が適用され、未通化地域はどこなのか、あまり知らされていません。自分の住居が、どうなっているのか(どういう地域に該当するのか)も分からない状態です。もっと多手段を使って知らせてほしいと思います。
- ・下水道工事は結構長かかって、通行止めの期間がつづくので、工事の進め方を見直してほしい。
- ・山間地域のため、合併浄化槽を推進している。
- ・下水道の整備を促進し、普及率を上げた方がいいと思います(自然環境保全の為)。
- ・接続するのに近い人はいいが、遠い人はよぶんにお金がかかってしまうので、それを同じにしてほしいです。
- ・山間地にも下水道をつけてほしい。
- ・2、3月頃になると、あちらこちらで下水道の工事が多くなるのは何故でしょうか？別の時期に年間通して平均に工事をすればよいと思いますが、如何なものでしょうか？
- ・友人宅でディスポーザー排水処理を何十年前より使用しており、良い方法だと思っていましたが、現在は中止との話を聞きました。利用される方の十分な注意も必要かと思いますが、使用できるようお願いしたいと思います。
- ・下水処理施設の見学会などをしてほしい

- ・下水道への接続工事がどういうものなのか、具体的に知りたい。
- ・問10にあるような行動が常識となるように小学校での教育にくみ込んでほしいですね。大人にいくらお説教しても直りませんから…。問10のような行動をして、ほめられるどころか、変人扱いされるのがおちですから。今の世の中は…。
- ・県の方でも「県民の義務です！」ぐらいのいきおいでアピールしてほしいものです。下水道の接続は金がなくてはできませんが、家庭の排水をきれいにするには、お金がない人の方が熱心かも…。
- ・私どもが下水道設備を使用するようになった時は、かなりの高額を払いました。現在、設備を接続すると、どの位の金額がかかるか分かりませんが、なるべく安く出来る様にとりかはらしてもらいたいと思う。又、県や市町村がすすめる業者等の紹介など、各家庭で安心してやってもらう様とりはからい、普及率を高めていき、我々が安心して住める山梨を造って下さい。外的美観も大事ですが、その中身はもっと大事だと思います。
- ・屋敷に道路が通るため移転をやむなくされたので、もと入っていた下水道を入れてくださるように頼みましたがだめでした。
- ・下水処理で出来た肥料の活用実態を広報でおしえて。
- ・単体ディスポーザーは、禁止するとともに、ディスポーザーの使用の自粛を
- ・近所の川は、確実にきれいになってきています。この現実を広めて、すべての家庭が接続するように推進をお願いします。
- ・補助金制度などPR、時限をもうけて規制導入(罰金制度)など
- ・山梨県は水源を保有している県として果たさなければならない役割が大きいと思います。家庭菜園、ガーデニング等で使われる農薬は水源を汚染していると考えなくてはならないと思われまます。小中学校から環境を大切にしなければならぬと言う意識を育てなければならぬと思います。環境保全の見地から下水道の果たす役割は大きいということも伝えていかなくてはならないでしょう。しかし、現在の屎尿処理がどのように行われているかを知るのにはチョット怖いような気がします。
- ・全戸に少しでも早くの、普及を望む
- ・下水道が唯一無二の手段と考えているような匂いがかかりすぎる。本当に他の方法がないのか、あるいは他の方法との折衷案はないのか。地域によってケースバイケース考えをもつべき。
- ・積極的に県民にPRして欲しい。
- ・築40年ぐらいの家は、水道管の損傷が気になります。循環診断か申請による診断か、行政の一端に入れて頂きたい。有償でも良い。
- ・接続できない区域からも使用料を徴収しているとかとにかく情報が不足すぎている。さらなるPRが必要ではないか？
- ・家庭での対応も重要であるが、大量の排水をする事業用排水にたいする指導も重要である。富士五湖周辺においては、釣り客による水質汚濁が進行している。釣り客とともに釣り宿、漁協等に対する行政の規制、指導の徹底を希望する。私は環境保護のため工事費の負担と高い下水道料を支払っているが湖水の汚濁は悪化している。世界遺産を推進するまえに環境整備をする必要があると考えます。県当局の積極的な対応を期待致します。
- ・「下水道法」に規定されている事をもっとアピールするべきです。また、使用料金も下げて、下水道に接続しても維持費に極端に差が出ないように努力したら加入増加になるのでは。
- ・下水道が来て欲しいけれど、田舎で住宅がすくないので下水道を通してもらうのは費用がかかると思います。しかしながら、合併浄化槽の維持管理には出費が多いです。合併浄化槽使用の家庭への補助金があればよいと思います。
- ・下水道業者の粗雑仕事が目につくので、教育をお願いしたい。
- ・下水道工事は仕方ないが、3月など一定の期間に工事を集中させないでほしい。もう少し下水道料金を安くしてほしい。(上水道も含めて)県外から転勤してくると料金の違いがよくわかる。もちろん、水をきれいにして還元するという理由はわかるが…。あと、無駄にきれいにするのはどうか？
- ・河川の問題を「クローズアップし”クリーン山梨(仮称)”推進運動を行えば良いと思う
- ・市町村別普及状況によって、補助金などの査定を行い、その数値などを公開する。このような方法もあるかと思えます。
- ・下水道の普及による弊害(河川水量の減少等)を考えると、合併浄化槽の普及に力を入れたほうが良いのでは？
- ・素晴らしい水環境を維持するために頑張りましょう。
- ・下水道利用環境下にありながら未接続の家庭への啓蒙に力を入れていただきたいと思えます。地域全体が下水道に接続しなければせっかく設備しても地域の環境への効果は疑問に思えます。
- ・県民全員が加入(普及)するのは大変だと思うが、100%加入を早期に実現したい。
- ・下水道の普及率が山梨県は低い。水という貴重な資源を守るためにも効率よく設置してほしい。

- ・ 地区の下水道施設等の開放や見学会を実施して欲しい。
- ・ 地域毎、必要に応じ計画の見直しを図り、下水道事業を推進していただきたい。
- ・ 下水道工事が完了していても接続しないのでは全く意味が無い。敷地面積に応じた高額な分担金を支払ったのだから、未接続のお宅へは強制的にでも接続するように指導すべきである。あまりややこしいことを言うなら、条例にすれば良いと思う。
- ・ 下水道といってもピンとこないので、目的や重要性等を幅広くアピールしたほうが良いと思う。